

平成20年10月21日

京情協 地域情報化委員会（20年度 第4回） 議事録

開催日時：平成20年10月21日（火） 17:00～18:15

開催場所：京都コンピュータ学院駅前校 新館 4階 会議室

参加者：和田、藤関、木下、相原、桶谷、中井、桧山、中川、桂田（敬称略）

配布資料：地域情報化委員会(第4回)議題、添付資料①～資料④

議事：

下記議題について、報告などがなされた。

1. 賀詞交歓の新春セミナー（委員長報告） *添付資料①

・日時、講師などが下記の通り確定した。

【日時】 平成21年1月16日（木） 午後4時～午後5時30分（受付：午後3時30分～）

【講師】 NPO法人ヒーローズ理事長 林 敏之 氏（元ラグビー日本代表）

【演題】 楯岡球の詩（うた） ～ ラグビーに学ぶリーダーシップ ～

【場所】 平安会館 2階

- ・KCG西村氏から紹介を頂き、1ヶ月程前に講師の渉外担当の方と打合せを行った。
- ・演題、プロフィールは先方が用意したものを使用。ラグビーを通して経験された事を話して頂く。
- ・内容の大きな変更リクエストについては対応が難しいとの事だが、細かいリクエストについては応えて頂ける。「リクエストがあれば12月中に連絡をして欲しい」との事なので、何かリクエストがあれば12月中に教えて頂きたい旨の依頼が委員長よりなされた。
- ・会員企業への案内文（資料①）についても、修正点などがあれば委員長に連絡をする。
- ・当日の講師出迎えをどうするかについては、後日、講師と和田氏で打合せして頂く。

2. 新卒採用支援セミナー（桧山氏報告） *添付資料②

・日時、講師などが下記の通り確定した。

【日時】 平成20年11月25日（火） 午後4時30分～午後6時30分

【講師】 毎日コミュニケーションズ 山本 堅一郎 氏（昨年と同じ講師）

【テーマ】 戦力化する人材を見極めるための新卒採用テクニックとは

【場所】 京都コンピュータ学院 新館 4階

【司会】 桧山氏

【講師料】 5万円（資料代なども含めて全て込みで）

- ・昨年のセミナーが好評だったため、今年も山本氏に依頼した。
- ・昨年はIT業界における採用動向全般に関する話であった。今回はアンケートでリクエストのあった面接の中身などを中心に話をして頂く。
- ・会員企業への案内文は10/30（木）付けでメールする。作成は桧山氏担当。
- ・講師料の領収書は京情協側で用意。サインと判子を講師から頂く。和田氏用意。
- ・今回もアンケートを取るか、取るとしたらどんな内容にするかは後日検討する。

3. リテンション（早期離職防止）マネージメントセミナー（委員長報告） *添付資料③

- ・日時、講師、場所が下記の通り確定した。

【日時】 平成 21 年 2 月 3 日（火）

【講師】 株式会社パシオ 代表取締役 藤井 哲也 氏

【場所】 京都コンピュータ学院 新館 4 階

- ・セミナー担当は福本氏。
- ・早期離職については、どの企業にとっても悩みの種であると思われる。若手人材の定着をいかに図るかについて、藤井氏にセミナーを行って頂く。
- ・添付資料③は、以前にセミナーで藤井氏が使用された資料。この資料自体は、基本的な考え方の他に、MATCH（企業にぴったりの相性の人材を測定するシステム）の宣伝を兼ねている。
- ・セミナーでは宣伝要素を押さえて頂くよう依頼する。
- ・内容のリクエストについては、近々、委員長と福本氏が藤井氏を訪問し、相談する予定。
- ・内容についてのリクエストがあれば、それまでに教えて欲しい旨の依頼が委員長よりなされた。

4. 次回の採用耳より情報（vol.5）（桂田報告）

- ・10月下旬もしくは11月上旬に次回の採用耳より情報を発信する予定。
- ・内容は、出来れば、11月25日の新卒採用支援セミナーに結びつくものにしたい。例えば、セミナーでは掘り下げ面接も取り上げるので、採用耳より情報では、「学生はこんなサイト・情報を見て面接の受け答えの準備をしている。それに対して、いかに面接で本音や本人の特性を見極めるか。セミナーで掘り下げ面接を紹介するのでぜひセミナーに参加して欲しい」といった流れを考えている。

5. 京都自律移動支援プロジェクト実証実験（委員長報告） *添付資料④

- ・3月に京都府立植物園で初回の実証実験が行われた。
- ・11月5日に今期1回目の京都自律移動支援プロジェクト実行委員会が行われる。委員長が出席し、3月の実証実験の参加報告と、2回目の実証実験の詳細を確認する予定。
- ・2回目の実証実験は、11月10日～11月30日に宇治橋周辺地域で行われる。
- ・正副委員長は参加予定。他にも参加出来る方がいれば参加し、委員長に報告して欲しい旨、依頼がなされた。

6. その他

(1) 公益法人制度改革の対応

- ・10月8日の事業推進委員会にて新公益法人検討委員会を発足する事が決まった。担当は事業推進委員長と和田氏を中心とする。
- ・ANIAは一般社団法人にするとの情報が和田氏からなされた。

(2) 他府県の情報産業団体との連携、情報収集

- ・他府県の団体の会報は2部届く。1部を公開してはどうかとの提案が和田氏よりなされた。

(3) KVBC 集客交流研究会の活動報告

- ・集客交流研究会で東京スカイツリープロジェクトの方から話を聞いた旨、藤関氏より報告がなされた。今後も何か情報があれば、藤関氏より流して頂く。

(4) 今後の委員会活動について

- ・来期以降の活動内容について、以下のような考えが委員長から伝えられ、意見交換を行った。
 - ・地域情報化という言葉にとらわれず、当委員会として出来ることがあれば、来年以降検討していきたい（例：合同の新人研修、ヒューマンスキル研修などの社員教育など）。
 - ・会員企業向け（内向け）でなく、外向けにも活動していきたい（例：CG コンテストの実施、高齢者向けの PC 教室、市民向けの IT 無料相談会など、地域の活性化につながる活動）
 - ・外向きの活動の一環として、他府県の団体との連携、情報交換を今後出来れば行っていきたい。

以上